

# 日米安保を軸に沖縄・天皇制を考える 4.28-29 連続行動

- 今年の4月 28 日は、1952 年にサンフランシスコ講和条約が発効し、日本が占領状態から脱し、戦後スタートさせた日から69年目になる。そしてそれは同時に、(旧)日米安保条約が発効からも69年目ということでもある。
- サンフランシスコ講和条約は、最大の被害国である中国やソ連を排除した西側諸国とのみ結ばれた。そして、日本の侵略戦争・植民地支配に対する賠償を経済援助方式によって切り縮めるものであり、天皇制国家による侵略戦争責任・植民地支配責任を糊塗してしまうものであった。さらに沖縄（南西諸島）を米軍支配のもとに切り捨てた。
- 講和条約と同時に発行した日米安保条約の締結と沖縄の切り捨ては天皇裕仁が、日本政府の頭越しに米国へ強く求めたものであった。
- 「戦後の国体」とも言われる日米安保体制+象徴天皇制。4.28-29 の連続行動では、その「国体」の総体を改めて見つめ直し、特に、日米安保体制が、どのように私たちの現在を支配しているのか、その仕組みを再確認する。

## 米軍優位の日米地位協定と 日米合同委員会の密約

お 話 **吉田敏浩** さん (ジャーナリスト)

\* 著書に『「日米合同委員会」の研究』  
『密約 日米地位協定と米軍犯罪』など



【日時】 **4月28日 (水) 18:15 開場 / 18:30 開始**

【会場】 **文京シビックセンター・4F シルバーホール**

\* 地下鉄後樂園駅・春日駅

【資料代】 **500 円**



## 4・29 反「昭和の日」デモ

【日時】 **4月29日 (木・休) 14:30 集合 / 15:00 デモ出発**

【集合場所】 **千駄ヶ谷区民会館** (JR 原宿駅徒歩7分)

主催 ● **日米安保を軸に沖縄・天皇制を考える 4.28-29 連続行動実行委員会**

【呼びかけ団体】 アジア連帯講座 / 研究所テオリア / スペース 21 / 戦時下の現在を考える講座 / 立川自衛隊監視テント村 / 反安保実行委員会 / 反天皇制運動連絡会 / ピープルスプラン研究所 / 「日の丸・君が代」の強制反対の意思表示の会 / 「日の丸・君が代」の法制化と強制に反対する神奈川の会 / 靖国・天皇制問題情報センター / 連帯社 / 労働運動活動者評議会

【連絡先】 090-3438-0263

\* 集会やデモに参加者のみなさまへ。コロナ感染予防のためにマスクの着用および適切な距離の確保へのご協力をお願いします。